

道徳科学習指導案

令和4年6月2日(木) 第1校時 第2学年2組(1年3組教室)

【主 題】 だれとでも仲よくするためには(内容項目「公正, 公平, 社会正義」) 『やさい村の子どもたち』

考察	道徳的価値についての理解 (学習活動)	自己の生き方についての考え (学習活動)	道徳性(育成を目指す資質・能力) <small>(道徳的判断力, 道徳的心情, 道徳的实践意欲と態度)</small>
育成を目指す資質能力	<ul style="list-style-type: none"> 好き嫌いにとらわれず接することで, 自分も相手も気持ちよく過ごせることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達との関わり方を生活経験や教材文と照らし合わせながら, 誰に対しても態度を変えないで接することの難しさについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 好き嫌いにとらわれず誰に対しても態度を変えないで接していく道徳的实践意欲と態度を養う。
子どもの実態	<ul style="list-style-type: none"> 誰に対しても態度を変えないで接しようとしているが, 自己中心的な考え方をすることがあり, 異なる考え方や感じ方を受け入れるよさは理解できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 普段から交流のある友達との関わり方は考えられているが, クラス替えで初めて同じクラスになった友達やあまり話したことがない友達との関わり方は考えられていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手のことよりも自分のことを優先して考えてしまうことがあり, 好き嫌いにとらわれず, 誰に対しても態度を変えないで接していく道徳的心情はもてていない。
価値	<ul style="list-style-type: none"> 誰に対しても公正, 公平な態度で接することは, 差別や偏見のない社会を実現していくために大切なことである。低学年の子どもたちは, 相手のよいところに目を向け, 受け入れようとすることはできる。しかし, 自分の好みや利害にとらわれず, 相手と接することが難しい。本教材では, 自分と相手との見た目の違いから相手への態度を変えてしまった, 登場人物の行動と自分の行動を照らして考える中で, 誰に対しても態度を変えないで接することの難しさについての問題意識をもつことができる。そして, 子どもは, 学習課題を解決する中で誰に対しても態度を変えないで接することで交友関係が広がったり, 深まったりすることに気づき, 好き嫌いにとらわれず誰に対しても公正, 公平な態度で接していく道徳的实践意欲と態度を養えるようになる。 		
見方・考え方	誰に対しても態度を変えないで接することの難しさを, 自己との関わりで多面的・多角的に捉え, これからの自己の生き方について考えること。		
今後の学習	「のこぎり山の大ぶつ」で, みんなで行動するとき一人一人を大切にすることとは何かについて考え, 人との関わり方について考えていく学習へと発展していく。		
他の教育活動との関連	<ul style="list-style-type: none"> 人との関わり方を考えることについて 例: 授業内外で友達と会話をする場面, ペアやグループ活動の場面, クラス替え後のクラスレクの場面 		

本主題における学びのデザイン

子どもたちは、クラス替えに伴い、新しい人間関係を構築している。しかし、1年生のときに同じクラスだった友達や、習い事が同じ友達とばかり関わっていたり、一人で折り紙や読書をしていたりする姿が見られる。そこで、新しいクラスの友達との過ごし方を問うアンケートを行った。子どもたちのアンケートの回答には、「1年生のときから仲のよい友達がいるから大丈夫」、「新しいクラスの友達とまだあまり話してない」、「今の友達だけで十分」、「苦手な友達とはあまり話せない」といったことが挙げられていた。そのため、「友達とかかわることのよさに気づき、共に学ぶ子ども」という学年の目指す子どもの姿から「友達のよいところを見付け、誰とでも同じ態度で接し、みんなと仲よく遊べる子」とした。そして、「今の友達とだけ仲よくしていけばよいのか」という問いに対する子どもたちの「まだあまり話したことがない友達と遊んでみたい」「今の友達も大切だけれどもっと新しい友達がいた方がよい」といった思いを基に「みんなと仲よくするにはどうすればよいのだろう」をテーマ課題とした。内容項目は、苦手なことがある友達のことを理解し、一緒に活動することの楽しさに気付ける「友情、信頼」や、一人一人に違いがあっても、誰もが同じ集団の一員として平等な存在であることに気付ける「公正、公平、社会正義」とし、教材は「およげないりすさん」、「やさい村の子どもたち」とした。

指導と評価の計画

教材名	およげないりすさん 友情、信頼	
ねらい	学習課題「苦手なことがある友達にはどうすればよいのだろう」について話し合うことを通して、苦手なことがある友達でも、その友達と助け合いながら活動することの楽しさに気づき、友達と仲よく生活しようとする道徳的心情を養う。	
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>
導入	○友達と仲よくできたり、できなかったりした経験を発表し合い、学習課題「苦手なことがある友達にはどうすればよいのだろう」をつかむ。	
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり、友達と助け合いながら活動することのよさについて、自分との関わりで考えたりしたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント>
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し、発表し合う。	

教材名	やさい村の子どもたち 公正、公平、社会正義	
ねらい	学習課題「仲間はづれが起きないためには誰が変わればよかったのだろう」について話し合うことを通して、交友関係が広がったり、深まったりすることに気づき、誰に対しても態度を変えないで接していこうとする道徳的心情を養う。	
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>
導入	○好き嫌いが原因で仲間はづれが起きてしまったことはないか問いかけ、学習課題「仲間はづれが起きないためには誰が変わればよかったのだろう」をつかむ。	
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり、誰とでも仲よくして生活することのよさについて、自分との関わりで考えたりしたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント>
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し、発表し合う。	

本時の学習（2／2時間目）

ね ら い 学習課題「仲間はずれが起きないためには誰が変わればよかったのだろう」について話し合うことを通して、交友関係が広がったり、深まったりすることに気付き、誰に対しても態度を変えないで接していこうとする道徳的実践意欲と態度を養う。

評価の視点 学習課題「仲間はずれが起きないためには誰が変わればよかったのだろう」について、教材の状況や生活経験を基に、多面的・多角的に考えたことを発言したり、記述したりしている。 <発言・学習プリント>

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p>1 教材を読み、学習課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前は、苦手なことがある友達とは、どうしたら仲よくなれるかを考えた。でも、みんなと仲よくするのはまだ難しそうだな。今日もまたよく考えたいな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> お話みたいで、悲しい気持ちになっている友達を見たことがあるな。仲間はずれは嫌だな。どうして起きてしまうのだろう。（課題意識） </div> <p>学習課題：仲間はずれが起きないためには誰が変わればよかったのだろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○テーマ課題「みんなと仲よくするにはどうすればよいのだろう」への方向付けができるよう、前時までの学習プリントで自己の考えを見返し、テーマ課題の解決の度合いについて問いかける。 ○好き嫌いにとらわれず、誰に対しても態度を変えないで接することについての問題意識をもてるよう、教材「やさしい村の子どもたち」の範読後、起きていた問題を問いかける。
<p>2 学習課題の解決に向けて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ぼくは、とまとさんがだまっていなくて「そういうことはやめよう」と言えばよかったと思うな。そうすれば、仲間はずれは起きなかったんじゃないかな。 なすさんやきゅうりさんと選んでいる友達がいるな。なすさんは一緒に遊ぶのがいやだなと言った人だからなんとなく理由がわかるけれど、きゅうりさんを選んだ理由を聞きたいな。 きゅうりさんは、好き嫌いが起きた後に意見を言っているのがよくないのか。なすさんが仲間はずれをしてしまった時にすぐに止めるべきだったんだな。 仲間はずれが起きた時に、自分はちゃんと止められるのか不安だな。でも、悲しい思いをする人がいてはいけなから絶対に止めないといけないな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> みんなで遊べば、友達ももっと増えるし、新しい友達のよいところも見付けられ、仲間はずれは起こらないな。（課題を解決した意識） </div> <p>3 テーマ課題を解決する。</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなと仲よくするには、助け合ったり、みんなに同じように話したりすることが大切なんだな。これからそうしていけるといいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「仲間はずれが起きないためには誰が変わればよかったのだろう」に対する自己の考えを自覚できるよう、なす、きゅうり、とまとの中から言動や気持ちを改めた方がよい登場人物を選択し、ロイロノートで提出するよう促す。 ○自分とは異なる登場人物を友達を選んだ理由を知りたいという意欲がもてるよう、タブレットで児童の回答を共有し、一覧から自分と異なる考えに印を付けるよう促す。 ○どの登場人物も言動や気持ちを改めることができたことに気付けるよう、言動や気持ちを改める登場人物とその根拠を伝えるよう促す。 ○好き嫌いにとらわれず、誰に対しても態度を変えないで接することができる自分の気持ちの弱さに気付けるよう、仲間はずれに関するアンケートの結果を提示し、行動の難易を問いかける。 ○交友関係が広がったり、深まったりすることが自覚できるよう、好き嫌いがなくなることで友達との間に生まれる関係を問いかける。 ○これからの友達との関わり方を見直すことができるよう、テーマ課題に対する考えを学習プリントに書くよう促す。